

道の駅あらお（仮称）基本構想

＜＜概要版＞＞



ジャンボ梨（新高）



オリーブ



まじゃく



アサリ

令和2年3月

熊本県 荒尾市



1. 道の駅あらお(仮称)基本構想策定の背景と意義

少子高齢化や人口流出、農水産業振興など、様々な課題に対応するため「道の駅」の整備について協議を続けてきた。

その間、有明海沿岸道路インターチェンジの延伸及び南新地土地区画整理事業などが決定し、それを大きな経済成長のチャンスと捉え、本構想の策定に着手した。

本構想は、「道の駅」が備える様々な機能を活用した、「道の駅あらお(仮称)」のあるべき姿について、今後の指針として位置づける。

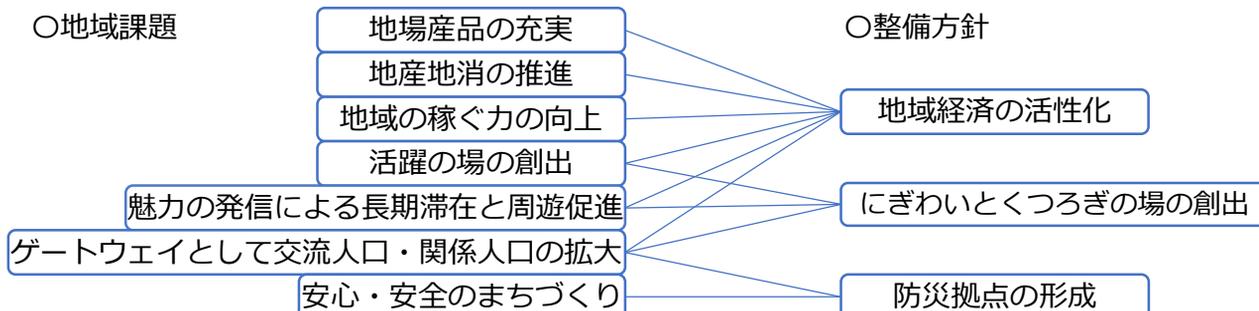
2. 南新地地区における「道の駅あらお(仮称)」の配置

- 有明海沿岸道路インターチェンジと国道389号からの円滑な交通による優れたアクセス環境の活用
- 夕陽などの景観や荒尾干潟をいかした自然環境と調和した施設整備
- 南新地地区ウェルネス拠点形成における、施設間機能連携を図るための統一感を持った利便性の高いまちの実現

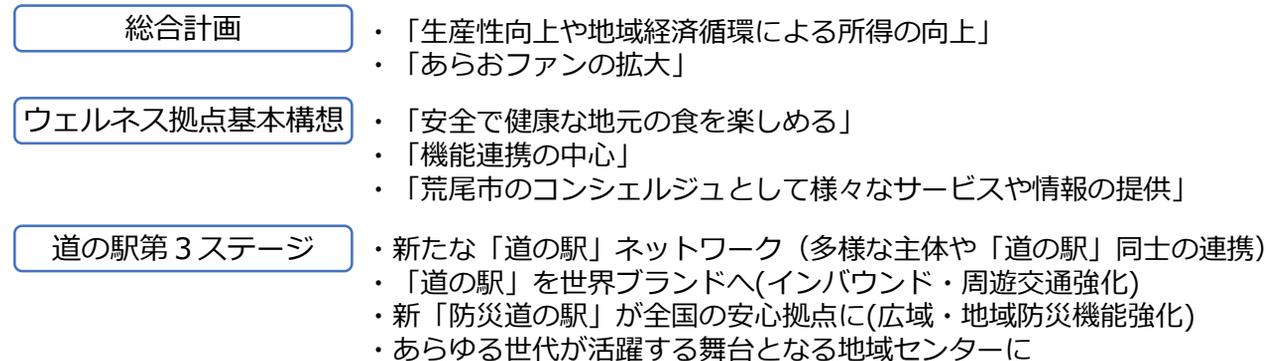


3. 荒尾市が目指す「道の駅」

地域課題から求められる整備方針



上位計画等から求められる「道の駅」の役割



市民等のニーズ

荒尾市民や市内来訪者においては、道の駅整備によっておいしい食事や新鮮な農水産物の購入、買い物や食事が便利になることが求められており、また、生産者や飲食関係事業者においては、地域ブランドの創出や農林水産業の活性化が求められている。

⇒「食」を中心に市民・来訪者が集い、地域経済が循環する拠点づくり

道の駅のコセプト

コンセプト

しあわせと元気の創造ステーション

～有明の海と小岱の山で紡ぐ「食ものがたり」～

- ・荒尾市、さらには熊本県の「ゲートウェイ」として、魅力の発信
- ・「道の駅」をハブとした地域の魅力を渡り歩く旅の提案
- ・「食」を中心とするサービスにより「元気」を生み出すことで地域経済の循環を拡大
- ・誰もが生き生きと過ごすことで「しあわせ」を感じることができる場の創出

食ものがたり

有明海と小岱山に育まれた荒尾の食の「価値」や「魅力」を見つめなおし、先人たちの知恵や技術、人びとの暮らしや営みなどを「ものがたり」として紡ぎ出し、荒尾の「食」の魅力を発信する。

食によるしあわせと元気の提供

- 地域の恵みを提供する直売所
⇒収入の増加、生きがいの創出
- 新たなビジネスを創出する加工品販売
⇒就業機会の提供と収入の増加
- 地産地消を中心としたレストラン
⇒地元の食の魅力の提供、地域経済の循環
- 地域課題の解決
⇒防災、市内外の交流、勇気づけられる場の創出、買い物弱者支援等

ゲートウェイとしての道の駅

- 情報発信
⇒荒尾市、熊本県、近隣市町のイベント、観光情報を提供
⇒荒尾らしい体験メニューなどを開発、発信
⇒外国人を含む旅行者へ、市内及び熊本県内他市町村への周遊手段や、地域情報を提供し、滞在時間の長期化、満足度を向上
- 南新地地区ウェルネス拠点における機能連携
⇒南新地地区の機能やサービスが「道の駅」を中心に連携し、荒尾市のコンシェルジュとして一元的な提携サービスを共有し、地域振興と市のブランド認知力を向上
- 交流拠点
⇒来訪者、地域住民の交流により、人、モノ、カネ、情報が循環し、誰もが満足する交流拠点

防災拠点としての道の駅

- 広域災害時の後方支援拠点機能
- 非常食や飲料水、非常用電源装置などによるバックアップ機能
- 防災啓発教育のための情報発信

地域連携機能

市内で生産される農水産物や特産品の販売、観光資源などの地域資源を活用し、消費者と生産者を結びつけ、地域の元気を創出する場所を提供する。

- 消費者と生産者を結び、荒尾市の魅力を伝える特産品販売及び加工品の製造・販売
- 荒尾市の産品をいかした料理の提供
- 利用者が手軽に購入できる、テイクアウト商品の販売
- 荒尾市の魅力を発信できるイベントスペースの提供
- 若者や起業家に対するチャレンジスペースの提供



情報発信機能

道路交通情報や行政情報、熊本県や荒尾市のゲートウェイとして観光や地域の情報発信を行う。

- 熊本県・荒尾市の玄関口として、観光情報・地域情報の提供
- 交通情報の提供
- 行政情報の提供

休憩機能

有明海や夕陽など、荒尾市の豊かな自然を眺め、心安らげる快適な休憩場所を提供する。

- 利用しやすい駐車場・駐輪場
- 24時間利用可能な快適なトイレ
- 気軽に利用できる休憩スペース



防災機能

災害時の緊急消防応援隊などの支援部隊の集結拠点や、帰宅困難者の支援の場として貢献できる機能を提供する。

- 災害時に様々な角度から貢献できる防災備蓄
- 災害時に必要となる設備（自家発電装置、防災トイレ等）
- 広域防災の拠点

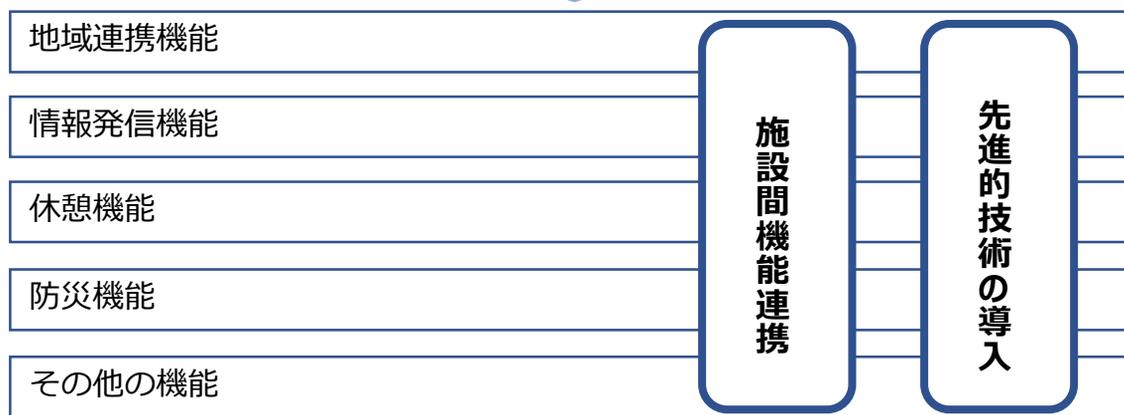
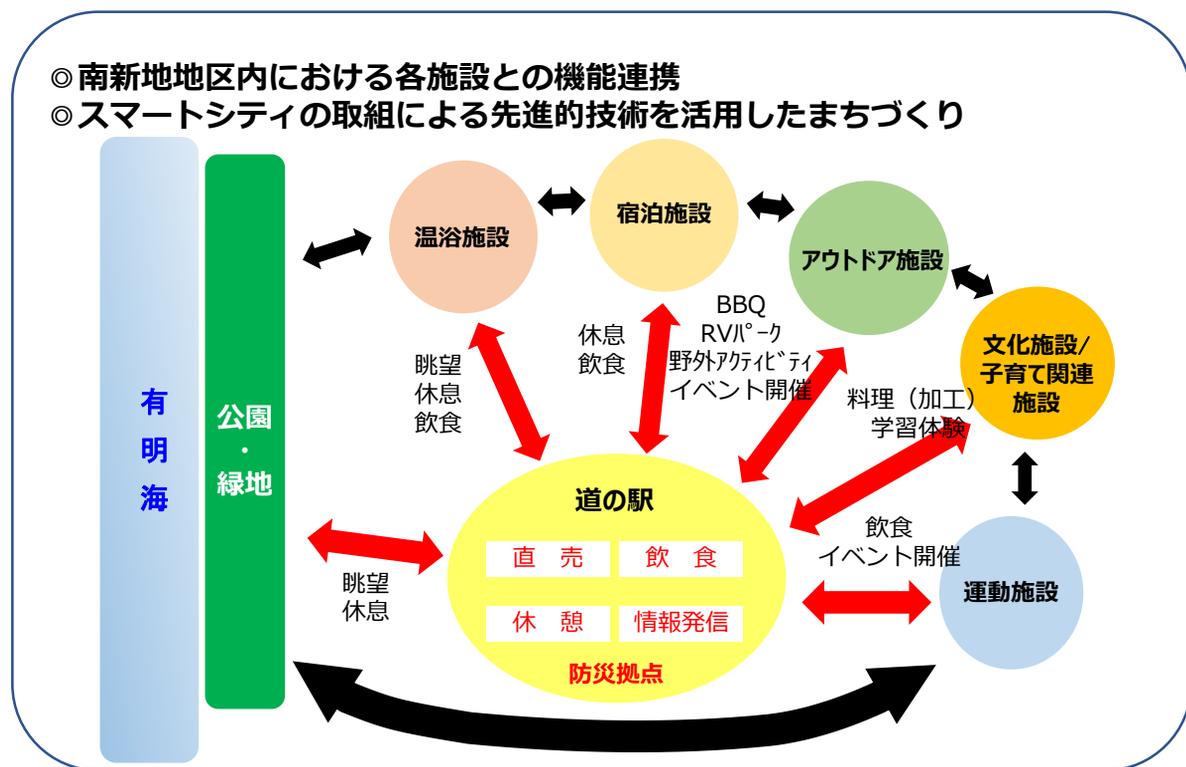


その他の機能

環境への配慮やサービス機能など、「道の駅」の利便性の向上や安心・安全を図るための施設を整備する。

- ユニバーサルデザインの導入
- 交通拠点機能
- ATMや無線LAN、多言語対応等、利用者の利便性向上につながるサービス機能

○道の駅の各機能と南新地地区に立地する他施設の機能が連携することによって、新たな価値を生み出す。



7. 今後の展開

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基本計画	→				
設計・建設		→			
開業準備			→		

開業



荒尾市 産業建設部 産業振興課 道の駅整備推進室

電話 : 0968-63-1421

e-mail : michinoeki@city.arao.lg.jp